

あいかわ

相川地区

(新潟県佐渡市)

- 計画期間 令和2年度～令和6年度
- 面積 152ha
- 交付対象事業費 640.4百万円
- 市人口 51,295人

ポイント

歴史的景観の保存・活用
来訪者へのサービス充実

地区概要

相川地区は、市民生活と一体となった歴史的風致が受け継がれていることから、観光地として発展してきた。歴史的景観の保全・活用に取り組むとともに、観光資源を活用した来訪者の増加を図る。

目標

「金銀山とともに育まれた歴史・文化を誇るまち相川」として、歴史的な町並みの景観を活用した『魅力あふれるまちづくり』と来訪者の利便性を向上させる『おもてなしの観光』を推進する。

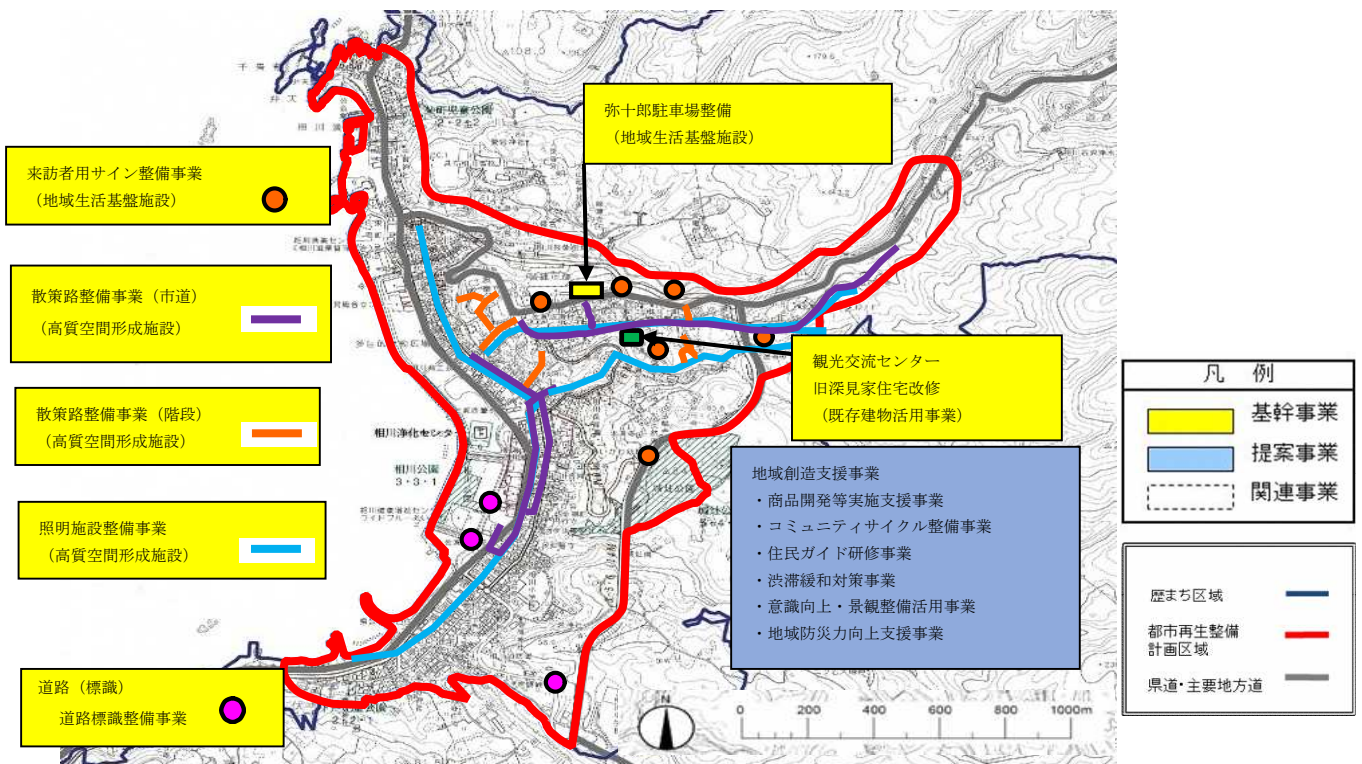
指標

歴史的景観や散策路を整備し、来訪者へのサービスを充実することで観光客の増加が見込まれることから、指標を設定した。

歴史文化施設の入館者数	194,000 (H28)	→	213,000 (R6)
まちあるきガイド利用者数	8,700 (H28)	→	10,400 (R6)

事業内容

- 基幹事業 (590.4 百万円) → 地域生活基盤施設 (弥十郎駐車場整備事業、来訪者サイン整備事業) 高質空間形成施設 (散策路整備事業、照明施設整備事業) 既存建物活用事業 (旧深見家住宅改修)
- 提案事業 (50 百万円) → 地域創造支援事業 (商品開発等実施支援事業、コミュニティサイクル整備事業、住民ガイド研修事業、渋滞緩和対策事業、意識向上・景観整備活用事業、地域防災力向上支援事業)



地区の現況と課題

現況

佐渡金銀山と共に江戸時代から現在へと続く歴史を今に残す建造物や町並みが数多く残され、市民生活と一体となった歴史的風致が受け継がれているものの、近年の観光客数の減少は、当地区のまちづくりにも大きな影響を及ぼしている。

課題

「金銀山のまち」として繁栄してきた歴史を今に残す建築物が多数現存し、散策型観光を十分に満足させる地域資源を有しながらも、散策ルートの整備が十分ではない。



散策路整備（階段）

提案事業の特徴

意識向上・景観整備活用事業

歴史的建造物等の修復や活用を行う地域住民に対して整備費を助成し、地域住民が一体となったまちづくりを推進する。

渋滞緩和対策事業

周辺道路の混雑状況を検証し、交通渋滞解消のための対策について検討を行い、観光客の利便性の向上を図る。

住民ガイド研修事業

外国人観光客の受け入れのための通訳案内士の研修会や住民ガイドのスキルアップ講演会を開催し、観光客へのサービスの充実を図る。

地域防災力向上支援事業

自主防災組織向けの講習会等を開催し、歴史的景観に対する住民の防災意識の育成・強化を促進する。



旧深見家住宅改修

計画策定プロセス

都市再生整備計画

本計画は、平成22年から始まる枠組みの基で策定された「重要な文化的景観 佐渡相川の鉱山及び鉱山町の文化的景観（保存計画・整備計画）」と「佐渡市歴史的風致維持向上計画」を上位計画と位置付け、市民、学識経験者、関係団体、行政機関による協議会が、市民ワークショップ等の意見を取り入れて策定した上記の計画に基づき、本市が令和元年度に策定した。

今後も各事業の進捗に合わせて、上位計画をはじめとした連絡調整を図り、各計画が相互に連携して、文化的景観と歴史的風致を一体的に推進するよう協働して事業を展開していく。



計画策定のための
ワークショップ